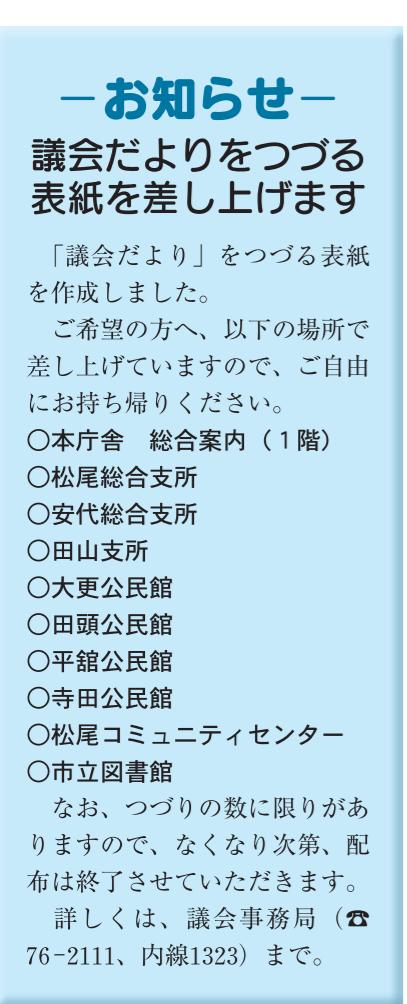


議会広報特別委員会

伊藤一彦(委員長)、渡邊 正(副委員長)、
三浦 侃、高橋悦郎、大森力男、立花安文

サハニ文書なども活用していく。
なお、次号からは議員個々の賛否結果を掲載する予定とのことで
あつた。

山形県川西町（11月15日）



県内の市議会議員が研修



畠中美耶子さんの講演

昨年11月17日、盛岡
グランドホテルで、平成
23年度岩手県市議会議員
研修会が行われ、県内13
市から約280人の市議会
議員が出席しました。

研修会では、最初に、
防災・危機管理ジャーナ
リストの渡辺実氏が「東
日本大震災に学ぶ」と題

して講演。渡辺氏は、「被災者の心に寄り添った復興をしなければならない」「国（霞が関）や現行制度に壁があるため、自治体には戦術・戦略が必要。国にどんどん物を言うべき」などと震災からの復興に向け、アドバイスしました。

次に、もりおか歴史文化館の畠中美耶子館長が「おもてなしの心」と題して、「笑顔」「あいさつ」「身だしなみ」や自分の心を相手に傾ける「心の前傾姿勢」の大切さ、言葉を尽くし、相手に伝えることの大さなどを語りかけました。

本市から出席した19人の議員も、今後の議会・議員活動の参考にしようと、2人の講師の講演に熱心に耳を傾けました。

議會運營委員會

古川津好(委員長)、米田定男、関 善次郎、小笠原壽男、
田村 孝〔瀬川健則、高橋光幸(オブザーバー)〕

議会は黙殺せよ! いわんやあか

・期日……平成23年10月18日～19日
・研修先（研修内容）……北海道函館市（議会の改革について）、北海道福島町（議会の活性化の取り組みについて）



北海道福島町（10月19日）

の内部に議会改革検討委員会を設置し、「開かれた議会、分かりやすい議会」を目指し、改革に取り組んだ経緯があり、質問者の発言時間を通告制にするなど一定の効果を上げていた。18年には、議会運営委員で構成する「議会改革検討ワーキンググループ」を設置し、課題や問題点を明らかにしながら19年に検討報告書をまとめ、議会の機能をより發揮するための運営のあり方などを検討してきた。

委員会は公開とし、その開催時間は道内第1位で、少ない委員会で年間15回、多い委員会で30回弱の開催であった。

この研修を通して、当市議会においても、議会改革に取り組む時期に来ているのではないかと感じた。

◎北海道福島町

福島町は、議会の理想の姿に向けて努力を続けていた。まず議会改革への明確な視点があり、それを共通認識のもと、「全国の事例

と気が付いたことから、できるこ
とから」の立場で改革を積み重ね
ていた。その結果が議会基本条例
などの制定として実を結んでいる。
それらが日常の議会活動の指針と
なり、継続した議会改革への取り
組みの支えとなっていた。

傍聴者を増やすため、夜間議会
を試みた。最初は傍聴者が来てい
たが、だんだん減って現在は来な
くなつたので止めた経緯がある。
説明員の反問制度も設けたが、今
まで反問はないとのことであった。

総務常任委員会

関 善次郎(委員長)、三浦 侃(副委員長)、米田定男、
伊藤一彦、田中榮司夫、田村 孝、渡邊 正

市民力を結集したまちづくり

- ・期日……平成23年11月1日～2日
- ・研修先（研修内容）……青森県大間町（電源立地地域対策交付金の活用について）、青森県青森市（地域振興について）



青森県大間町 (11月 1)

共施設などの建設費とそれらにかかる人件費や光熱水費、修繕料など維持運営費に使われていた。当市も自然エネルギー開発を民間に行つてもらい、発電施設の固定資産税が入るような検討も必要ではないかと感じた。

◎青森県青森市

青森市は、市民と共につくるまちを前面に押し出して、まちづくりを進めるための基本となる「(仮称) 青森市自治基本条例」の制定に向けて取り組んでいた。これは、市民・議会・行政が情報を共有し、共に住みよいまちづくりを進めるルールや仕組みを定めるもので、その検討委員会が設置されていた。地域コミュニティの活動も、活性化のための補助金を活用して盛んに行われていた。

行政課題解決のため市民力を集め、各種団体が連携した活動を目指しているところは、今後の成り行きが注目され、大いに参考になると感じた。

新生会

田村孝(代表)、松浦博幸、瀬川健則、
工藤剛、工藤直道、大和田順一、渡辺義光、
大森力男、立花安文
北口和男(公明党)

地方議員の意識が確実に変化

新生会と北口和男議員(公明党)は合
同で、11月21日から23日まで、①全国市
町村議会議員セミナー(滋賀県大津市)
の受講と、②北淡震災記念公園(兵庫県
淡路市)の視察研修を行いました。

◎全国から280人が参加

全国市町村国際文化研
修所で開催されたセミナ
ーには、北海道から沖縄
県までの市町村議会議員
280人が参加。2日間
にわたり、地方自治の動
向、議員の役割、地方財
政の現状、地震への備え
などについて、北川正恭
氏(元三重県知事)など
著名な方々の講義を受講
しました。



北淡震災記念公園メモリアルハウス (11月23日)

参加者の1割(28人)
が女性で、年齢を見れば
26歳から超ベテラン議員まで実にさまざ
まであった。

ある講師の方が、「以前はこのような
研修会に参加するのは少人数だったが、
最近は参加者数が増え続けている」と、
話しておられた。

◎北淡震災記念公園の入 場者数800万人達成に 驚き

成10年に北淡震災記念公園を開設。「こ
れまでの入場者数が、800万人を超
えた(参考までに大人の入場料は700円)」
と説明を聞き、驚くとともに、「災い転
じて福となす」のことわざを目の当たり
にした感じがした。

◎嬉野市議会の議会改革

市民からの「議会は政
策の提言もせず、市長の
政策の追認をするだけだ」
との声に応え、平成21年
6月に議会基本条例を議
決した。「議員とかたうう
会(正式には議会報告会)」
の開催、議会の情報公開
として議案の賛否の公表
(議会報に掲載)や政務調
査費の開示をするととも
に、政策討論会や自由討
論会の活性化、執行部への
反問権の付与などに取り
組んでいた。決算審査においては、国会
のように「仕分け」ができるようにな
れば、とのことであった。八幡平市民か
らの声が聞こえてくる前に、我々も議会
改革へ取り組まなければならない。

◎豊後高田市の観光まちづくり

佐賀県嬉野市(11月21日)
特産品の梅を加工して
販売する農業の6次産業
化に取り組み、その売り
上げは年15億円、県外も
含めて5店舗、1000
戸と聞き驚愕した。農協職員に生産
者と購買者(都市生活者)の結びつきを
強めるための施設づくりにボランティアで
協力する理由を尋ねたところ、「夢があ
るから」との答えで、「夢」を見ること、
見させることができた成功の秘訣のようだつた。

市民の声に応えた「議会改革」

緑・松クラブ

伊藤一彦(代表)、高橋光幸、古川津好
関善次郎(代表)、遠藤公雄、渡邊正、
高橋喜代春

の地方議員に変化が起きていると、感じ
た。

北川先生の議会改革度調査ランキング
によれば、1位が松本市(長野県)、2
位が会津若松市(福島県)、3位が福島
町(北海道)と、いずれも「開かれた議
会」として有名である。

北川先生は、「これらの議会に
追いつけ追い越せと、情
報公開や住民参加に力を
入れる議会が増えている」
と、話しておられた。

◎北淡震災記念公園の入 場者数800万人達成に 驚き

◎嬉野市議会の議会改革

市民からの「議会は政
策の提言もせず、市長の
政策の追認をするだけだ」
との声に応え、平成21年
6月に議会基本条例を議
決した。「議員とかたうう
会(正式には議会報告会)」
の開催、議会の情報公開
として議案の賛否の公表
(議会報に掲載)や政務調
査費の開示をするととも
に、政策討論会や自由討
論会の活性化、執行部への
反問権の付与などに取り
組んでいた。決算審査においては、国会
のように「仕分け」ができるようにな
れば、とのことであった。八幡平市民か
らの声が聞こえてくる前に、我々も議会
改革へ取り組まなければならない。

◎豊後高田市の観光まちづくり

佐賀県嬉野市(11月21日)
特産品の梅を加工して
販売する農業の6次産業
化に取り組み、その売り
上げは年15億円、県外も
含めて5店舗、1000
戸と聞き驚愕した。農協職員に生産
者と購買者(都市生活者)の結びつきを
強めるための施設づくりにボランティアで
協力する理由を尋ねたところ、「夢があ
るから」との答えで、「夢」を見ること、
見させることができた成功の秘訣のようだつた。

3月定例会の日程について(予定)

クイズ

問 ○の中には、どんな数字(文字)が入るでしょう?

- ①12月定例会で決定された指定管理者が4月1日から指定管理する施設数は、西根老人憩の家など全部で○○施設
- ②議会運営委員会で視察に訪れた北海道福島町で制定していた条例は、「○○○○条例」

応募方法

はがきかFAXまたはEメールに、答え、住所、氏名、年齢、議会
によりを読んだご感想、市議会へのご意見・ご要望などを記入の上、
議会事務局までお寄せください。正解者の中から抽選で5人の方に
1,000円分の「八幡平市共通商品券」をお贈りします。※お寄せいた
だいた個人情報は、このクイズに関わるもののみに使用します。

あて先

〒028-7192(住所不要)八幡平市議会事務局 議会だより係
FAX: 0195-76-2980
Eメール: gikai@city.hachimantai.lg.jp

締切日

平成24年3月2日(当日消印有効)

前回(第25号)の正解

①24.9 ②エネルギー
応募者数 16人(うち正解者15人)
当選者(敬称略) 布加代子(野駄)、遠藤良友(川原)、岩崎美代子(大更)、
佐藤萌々(打田内)、柳沢 広(松尾)

新生会と北口和男議員(公明党)は合
同で、11月21日から23日まで、①全国市
町村議会議員セミナー(滋賀県大津市)
の受講と、②北淡震災記念公園(兵庫県
淡路市)の視察研修を行いました。

◎全国から280人が参加

全国市町村国際文化研
修所で開催されたセミナ
ーには、北海道から沖縄
県までの市町村議会議員
280人が参加。2日間
にわたり、地方自治の動
向、議員の役割、地方財
政の現状、地震への備え
などについて、北川正恭
氏(元三重県知事)など
著名な方々の講義を受講
しました。



長野県飯綱町 (11月22日)

議会改革へ取り組む直
接のきっかけになったのは、町の第三セクターの
経営破綻の責任が議会に
も厳しく問われたことだ
った。

そこでまず議会が行つたのは、住民アンケートの
実施だった。それを基にして、住民が求める議会
像を5点に集約し、具体的な議会改革の課題とし
て8項目を決定した。

その中の一つが、「政策サポーター制」と、議員の政策立案能力の向上を目的としたものである。
12人の政策サポート

会改革は、住民のための議会を目指すものであ
り、その意味で見事な成果である。

驚いたのは、これまで「賃貸料の増額
め、休会となります」。

▼13日(火)・14日(水)・19日(月)、21日
平成24年第1回定例会(3月定例会)
は、次のとおり開催される予定です。

◎会期 2月23日(木)から3月23日(金)
まで(土・日曜日、祝日は議案思考のた
め、休会となります)。

▼2月23日(木) 市長施政方針演説など
一般質問(会派代表)

▼3月6日(火) 一般質問(会派代表)

▼7日(水)～9日(金) 一般質問

▼12日(月) 議案審議、予算特別委員会

▼13日(火)・14日(水)・19日(月)、21日
内線1322まで問い合わせ願います。

詳しく述べ、議会事務局(☎76-2111、
23 第26号 平成24年2月 はちまんたい 議会だより

はちまんたい 議会だより 平成24年2月 第26号 22